市場経済

名前

問1　あるスーパーマーケットでは、夕方以降になると消費期限が近づいた弁当などの食品に「30%引き」といったラベルを貼り、価格を下げて販売しています。このような価格設定を行う経済的な理由として、最も適切な説明はどれですか。（2016年 秋田県公立入試 類似）

1. 常に一定の価格を維持することで、他の小売店との価格競争を避けるため
2. 価格を下げることで需要を高め、商品の売れ残りを防いで効率的に販売するため
3. 原価よりも高い価格を維持し、商品1個あたりの利益額を最大化するため
4. 商品の品質が低下したことを消費者に知らせ、購入を控えてもらうため

問2　縦軸に価格、横軸に数量をとったグラフにおいて、需要曲線と供給曲線が交わる点（均衡価格）よりも、現在の価格が高い位置にあるとする。この時の市場の状況と、その後の価格の変化についての説明として正しいものはどれか。（2022年 青森県公立入試 類似）

1. 需要量が供給量を上回って商品が不足するため、価格は下落する
2. 供給量が需要量を上回って商品が売れ残るため、価格は上昇する
3. 需要量が供給量を上回って商品が不足するため、価格は上昇する
4. 供給量が需要量を上回って商品が売れ残るため、価格は下落する

問3　需要曲線と供給曲線の交点で価格が決まる仕組みにおいて、需要曲線が元の位置から右側にシフトした場合、新たに決まる均衡点（均衡価格と取引量）の状態について正しく述べたものはどれですか。（2022年 埼玉県公立入試 類似）

1. 元の均衡点に比べて、均衡価格は低くなり、取引量は減少する。
2. 元の均衡点に比べて、均衡価格は高くなり、取引量は減少する。
3. 元の均衡点に比べて、均衡価格は低くなり、取引量は増加する。
4. 元の均衡点に比べて、均衡価格は高くなり、取引量は増加する。

問4　ある商品の市場で、買い手の買いたい量（需要量）が売り手の売りたい量（供給量）よりも多い品不足の状態になりました。この後、市場の価格働きによって売買の数量が一致するまでの変化として最も適切なものを選びなさい。（2025年 岩手県公立入試 類似）

1. 価格が下落することで需要量と供給量の両方が同時に減少して一致した。
2. 価格が上昇することで需要量が減少し、供給量が増加して一致した。
3. 価格は変化せず、生産者が生産量を増やすことで供給量のみが増加して一致した。
4. 価格が下落することで需要量が増加し、供給量が減少して一致した。

問5　消費者が商品を購入する際に支払う「税込価格」には、商品の代金である本体価格と消費税が含まれています。この消費税の仕組みや性質について述べた文として、最も適切なものはどれですか。（2016年 秋田県公立入試 類似）

1. 商品の生産者が、自分の利益の中から国に直接納める直接税である。
2. 所得が高くなるほど税率が高くなる累進課税が適用されている。
3. 経済状況に応じて、国が自動的に税率を上下させる仕組みのことである。
4. 税金を負担する者と納税する者が異なる間接税である。

問6　市場経済において、一社による独占や、少数の大企業が市場を支配する状態が続くと、企業間の競争が働かなくなり、価格が下がりにくくなるなどの弊害が生じます。このような事態を防ぎ、公正かつ自由な競争を促進するために日本で制定されている法律はどれですか。（2020年 愛媛県公立入試 類似）

1. 独占禁止法
2. 製造物責任法
3. 消費者基本法
4. 不正競争防止法

問7　市場経済において、本来は複数の企業が価格や品質を競い合うことで消費者の利益が守られますが、特定の商品を供給する企業が一つだけの状態になり、自由な競争が妨げられることがあります。このような市場の状態を何といいますか。（2020年 愛媛県公立入試 類似）

1. 寡占
2. 独占
3. 価格協定
4. カルテル

問8　秋田県の特産品である「きりたんぽセット」のラベルに、税込価格1,080円と表示されています。この商品の消費税率が8%であるとき、消費税が課される前の「本体価格」として正しい金額はいくらですか。（2016年 秋田県公立入試 類似）

1. 1,080円
2. 1,166円
3. 1,000円
4. 920円

問9　市場経済において、社会全体の生産や消費などの経済活動が活発になる「好況」と、それらが停滞する「不況」が、ある程度の周期をもって交互に繰り返される現象を何と呼びますか。（2020年 千葉県公立入試 類似）

1. 持続可能な開発
2. インフレーション
3. 景気変動
4. 経済成長率

問10　市場経済において、買い手の需要量と売り手の供給量がちょうど一致した時の価格を何と呼びますか。最も適切な用語を選択してください。（2016年 滋賀県公立入試 類似）

1. 独占価格
2. 公共料金
3. 均衡価格
4. 固定価格

問11　日本の製造業において、円高への対応や安い労働力の確保を目的として、企業が工場などの生産拠点を海外へ移転させる動きが見られます。その結果、国内の製造業が衰退し、雇用の機会が失われてしまう現象を何と呼びますか。（2024年 熊本県公立入試 類似）

1. 経済のグローバル化
2. 産業構造の高度化
3. 産業の空洞化
4. 情報化社会の進展

問12　訪問販売や電話勧誘販売など、不意の勧誘によって消費者が冷静な判断ができないまま契約を結んでしまった場合、一定の期間内であれば無条件で契約を解除できる制度を何といいますか。（2017年 岐阜県公立入試 類似）

1. 製造物責任法（PL法）
2. 消費者契約法
3. 独占禁止法
4. クーリング・オフ制度

問13　現代社会におけるキャッシュレス決済の進展について、18歳から70代までの年齢階層別の意識を示した統計から読み取れる、世代ごとの特徴を説明したものとして適切な記述を選びなさい。（2025年 神奈川県公立入試 類似）

1. 若年層ほど二次元コード決済の利用意向が高く、高齢層ほどクレジットカードを利用する意向が強い傾向にある。
2. 年齢層が上がるにつれて二次元コード決済の利用意向が高まり、若年層では現金以外の支払い手段は普及していない。
3. 高齢層では現金の利用率が極端に減少し、若年層よりも二次元コード決済を積極的に活用する傾向が顕著である。
4. 全世代において電子マネーの利用意向が最も高く、二次元コード決済やクレジットカードを利用する層は限られている。

問14　市場において、消費者が買おうとする「需要量」と、生産者が売ろうとする「供給量」が一致したときの価格を何といいますか。正しい名称と状態の組み合わせを選びなさい。（2019年 佐賀県公立入試 類似）

1. 均衡価格：需要量と供給量が一致し、市場での過不足がない状態
2. 独占価格：有力な少数の企業が、市場の需要に関わらず決定する状態
3. 公共料金：国民生活への影響を考慮し、政府が需要を調整する状態
4. 市場価格：需要量に関わらず、生産コストに基づいて決定される状態

答え合わせ・解説

問1	答え 2 価格を下げることで需要を高め、商品の売れ残りを防いで効率的に販売するため	消費期限が迫った商品は、そのままの価格では需要が低くなり、売れ残って廃棄（ロス）になる可能性が高まります。価格を下げることで消費者の購買意欲（需要）を喚起すれば、売れ残りを防ぐことができます。これにより、仕入れた商品を無駄なく消費者に届けることができ、経済的に効率的な資源の活用が可能になります。
問2	答え 4 供給量が需要量を上回って商品が売れ残るため、価格は下落する	価格が均衡点よりも高い場合、売り手は「高く売れるなら多く売りたい」と考えるため供給量は増えますが、買い手は「高いなら買わない」と考えるため需要量は減ります。この結果、供給量が需要量を上回る超過供給の状態となり、商品は売れ残ります。売れ残りを解消するために価格は次第に下落し、均衡価格へと調整されていきます。
問3	答え 4 元の均衡点に比べて、均衡価格は高くなり、取引量は増加する。	需要曲線が右側にシフトするということは、同じ価格帯であっても消費者が求める数量が増えたことを意味します。このとき、右上がりの曲線である供給曲線との新たな交点は、元の交点よりも右上方に位置することになります。したがって、価格（縦軸の値）は上昇し、取引量（横軸の値）も増加するという結果になります。これは人気商品が品薄になり、価格がつり上がっていく市場のメカニズムをグラフで示したものです。
問4	答え 2 価格が上昇することで需要量が減少し、供給量が増加して一致した。	需要量が供給量を上回ると、商品を求めて価格が上昇します。価格が上がると買い手は購入を控え（需要量の減少）、売り手は供給を増やす（供給量の増加）ため、両者の数量が一致する価格へ調整されます。
問5	答え 4 税金を負担する者と納税する者が異なる間接税である。	消費税は、商品やサービスの価格に上乗せされ、最終的に消費者が負担しますが、税務署への納税は事業者が行います。このように、負担者と納税者が異なる税金を「間接税」と呼びます。所得が多いほど税率が上がる仕組みは「累進課税」と呼ばれ、所得税などに採用されています。消費税は所得に関わらず一定の税率が適用されるため、低所得者ほど所得に対する税負担率が相対的に高くなる「逆進性」という性質を持っています。
問6	答え 1 独占禁止法	企業間の競争がなくなると、企業はコスト削減や品質向上の努力を怠るようになり、消費者は高い価格を維持された「管理価格」によって不利益を受けます。これを防ぐために独占禁止法が制定されており、独立した行政機関である公正取引委員会が、市場の番人として違反行為がないか監視しています。
問7	答え 2 独占	自由な競争が行われる市場では、需要と供給のバランスによって価格が決まります。しかし、供給者が1社のみになると、その企業が利益を最大化するために価格を自由に操作できるようになり、消費者が不利益を被る可能性が高まります。少数の企業が市場を支配する「寡占」と区別して理解することが重要です。
問8	答え 3 1,000円	消費税は、商品の本体価格に一定の税率を乗じて算出されます。税込価格は「本体価格 + 消費税額」で構成されるため、本体価格をW、税率をrとすると「W × (1 + r) = 税込価格」という関係が成り立ちます。この問題では、税込価格が1,080円、税率が8%（0.08）であるため、本体価格は 1,080 ÷ 1.08 を計算して1,000円となります。もし税率が10%であれば、1,080 ÷ 1.1 となり、本体価格は約982円となります。
問9	答え 3 景気変動	市場経済における経済活動の波を指す用語です。所得水準や雇用の状況は常に一定ではなく、好況、後退、不況、回復という4つの局面を繰り返しながら推移します。これは「景気循環」とも呼ばれ、現代の経済を理解する上で重要な概念です。
問10	答え 3 均衡価格	市場では、商品の価格が上がると買い手の需要量は減り、逆に売り手の供給量は増えるという関係があります。この需要量と供給量がちょうど一致する地点で決まる価格を均衡価格といいます。市場の自由な取引が行われる状況では、価格の変動を通じて需要と供給のバランスが自動的に調整されます。
問11	答え 3 産業の空洞化	企業がコスト削減や市場開拓のために生産機能を国外へ移すことで、国内の製造基盤が失われる様子を、中身がなくなることに例えて「空洞化」と呼びます。これにより、国内の技術力の低下や失業率の上昇が懸念されるようになります。
問12	答え 4 クーリング・オフ制度	訪問販売や電話勧誘などは、消費者が自ら店舗に赴く場合とは異なり、心の準備がない状態で不意に勧誘を受けることが多くあります。このような状況では冷静な判断が難しく、不当な契約を結んでしまうリスクがあるため、契約後も一定期間（原則8日以内）は消費者が一方的に契約を白紙に戻せる権利を認めることで、消費者の保護を図っています。
問13	答え 1 若年層ほど二次元コード決済の利用意向が高く、高齢層ほどクレジットカードを利用する意向が強い傾向にある。	キャッシュレス決済の普及状況は年齢階層によって異なります。若年層は新しいデジタル技術である二次元コード決済を柔軟に取り入れる傾向がありますが、高齢層は長年利用されてきたクレジットカードによる決済を継続して選択する傾向が強く、世代間で好まれる決済手段に違いが見られます。
問14	答え 1 均衡価格：需要量と供給量が一致し、市場での過不足がない状態	需要量（買いたい量）と供給量（売りたい量）が一致する価格を均衡価格と呼びます。この状態では、市場に商品が余ることも、足りなくなることもありません。価格（縦軸）と数量（横軸）の関係を示す際、右下がりの需要曲線と右上がりの供給曲線が交わる地点がこの均衡価格にあたります。これに対し、一部の企業が市場を支配して決める価格は独占価格と呼ばれます。